

第1回 健康教室

脳卒中シリーズ -1-

脳卒中ってどんな病気？

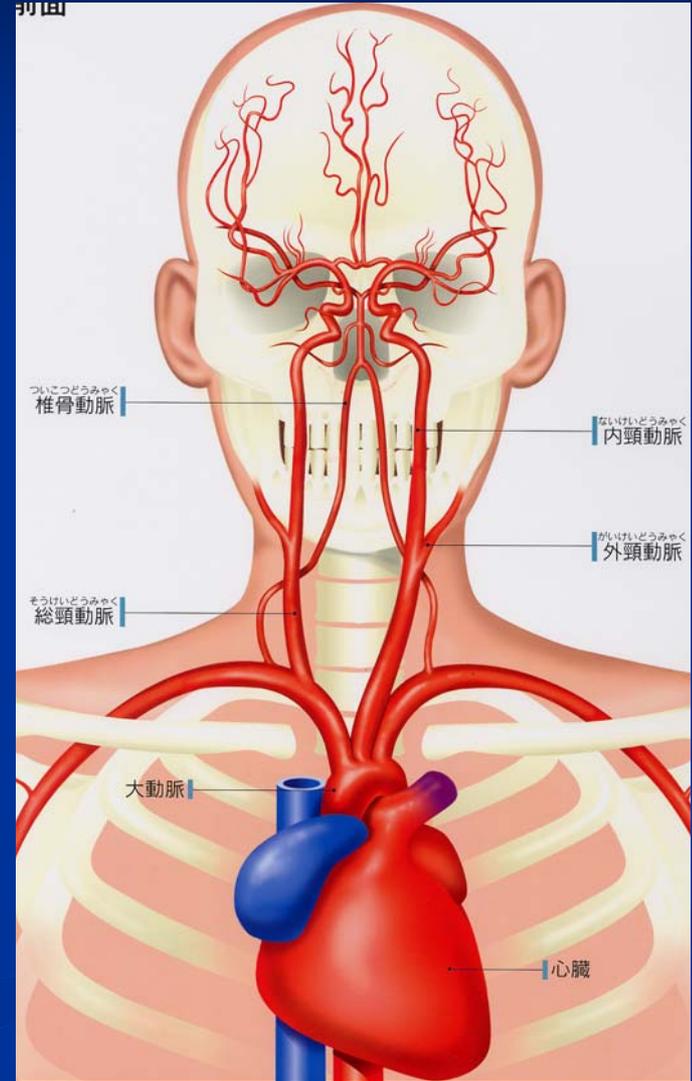
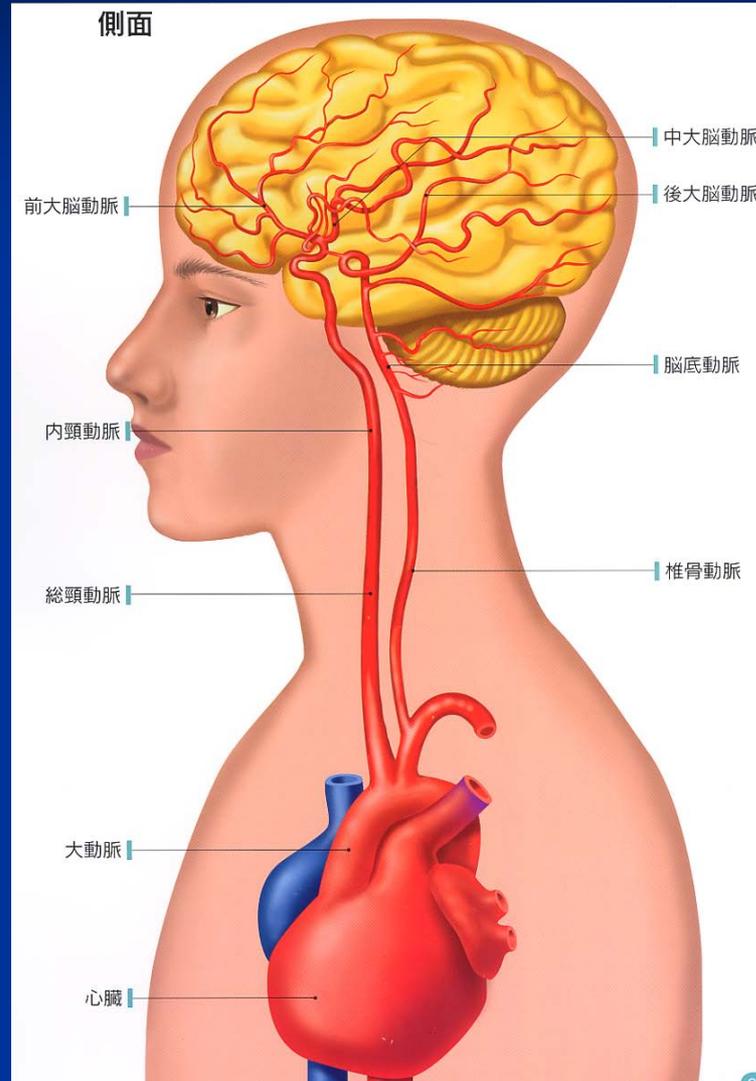
脳卒中とは？

- 突然(卒)あたる(中)
- 何らかの原因により脳血管あるいは脳血流動態に**突然**破綻をきたし、意識障害、片麻痺、頭痛などが**突発的に出現**する状態

脳卒中は国民病

- 軽症化し死亡率は減少しつつある
癌、心疾患に次いで第三位
- 有病率は増加している
高血圧、糖尿病に次いで第三位
- 後遺症→社会的負担・介護サービス必要
- 高齢化社会→発症率・受療率の増加

脳の血管



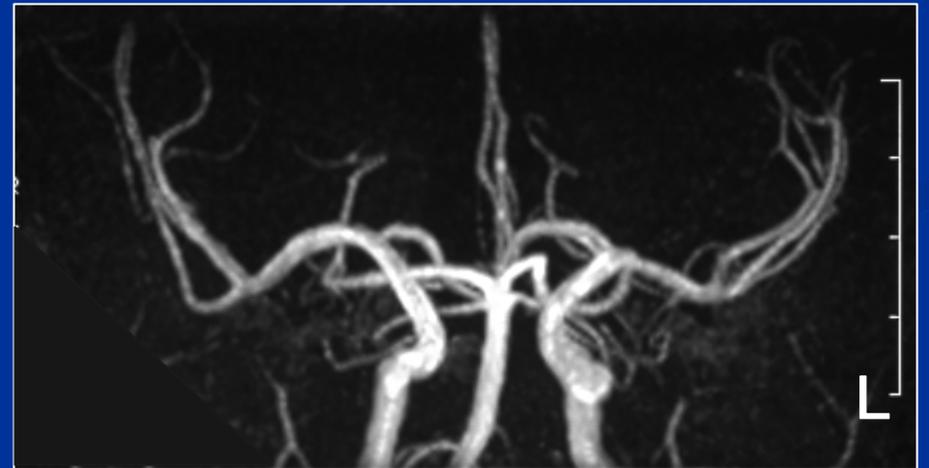
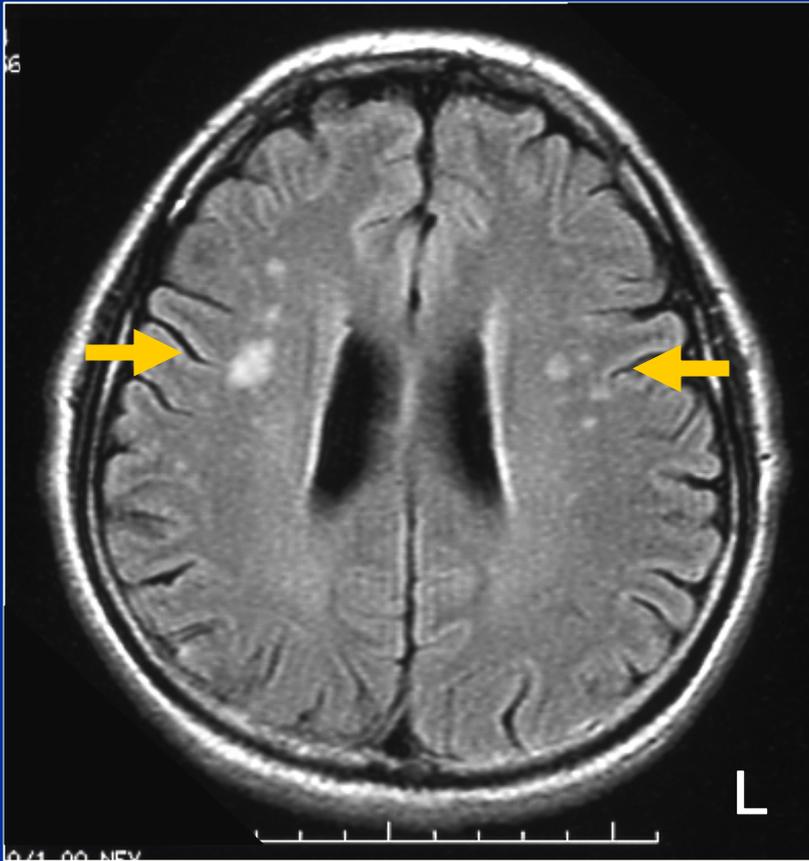
脳 梗 塞

- 脳組織の一部が虚血状態になり、一過性または恒久的に脳機能障害をきたしたものを脳梗塞という

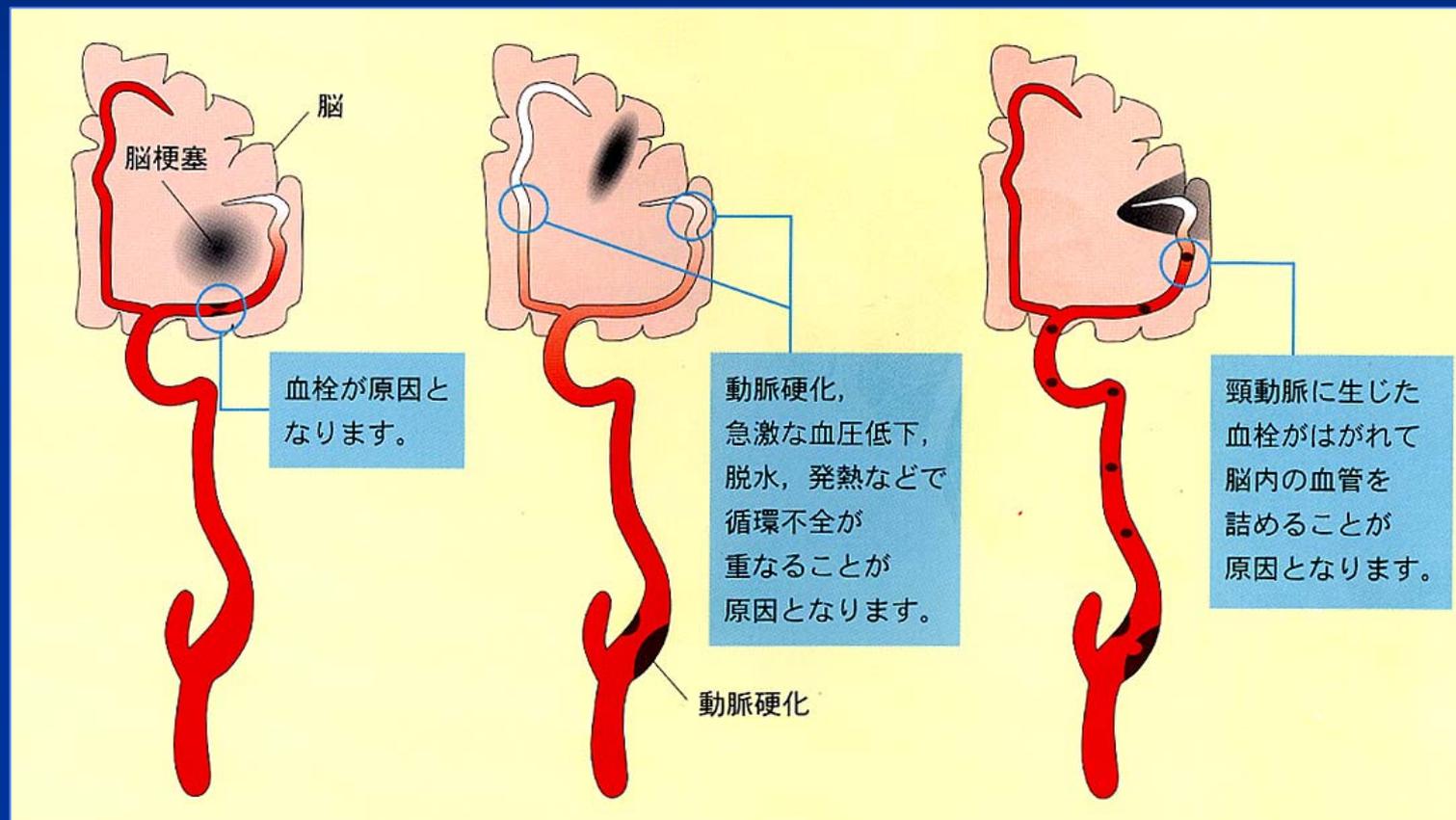
ラクナ梗塞

- 単一の深部穿通枝閉塞による小梗塞
(15mm \geq)
- 基底核、放線冠、橋底部などの脳深部
- 高血圧との関連深い
- わが国では最も高頻度
- ラクナ症候群 (Fisherら)
 - 片麻痺、感覚障害、構音障害と巧緻運動障害など
- 機能および生命予後は良好

ラクナ梗塞の画像



アテローム血栓性脳梗塞の機序



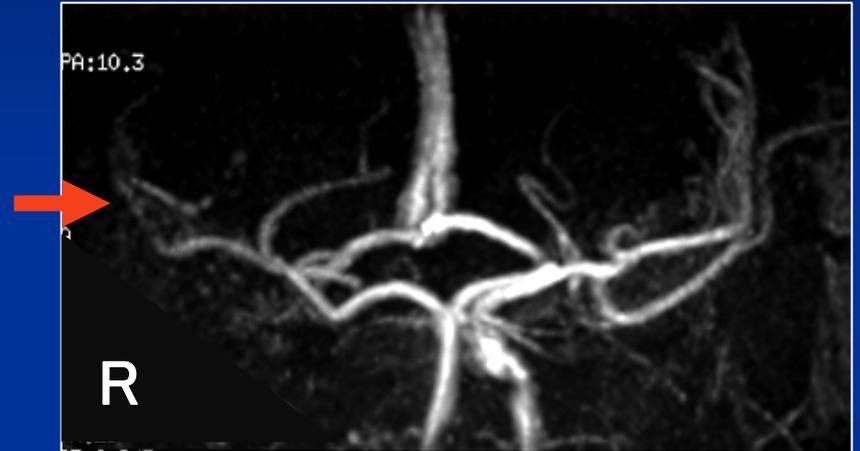
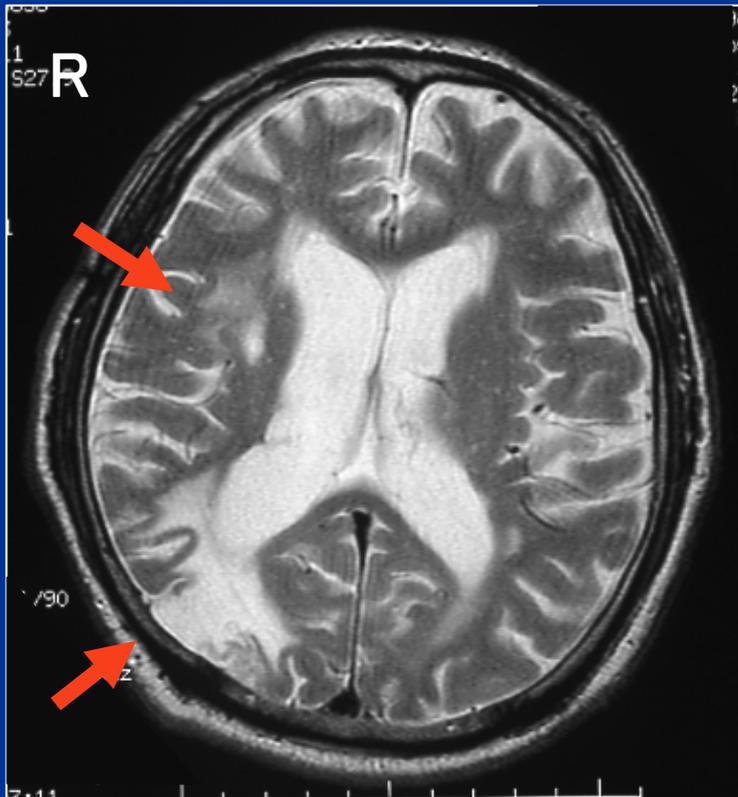
血栓性

血行力学性

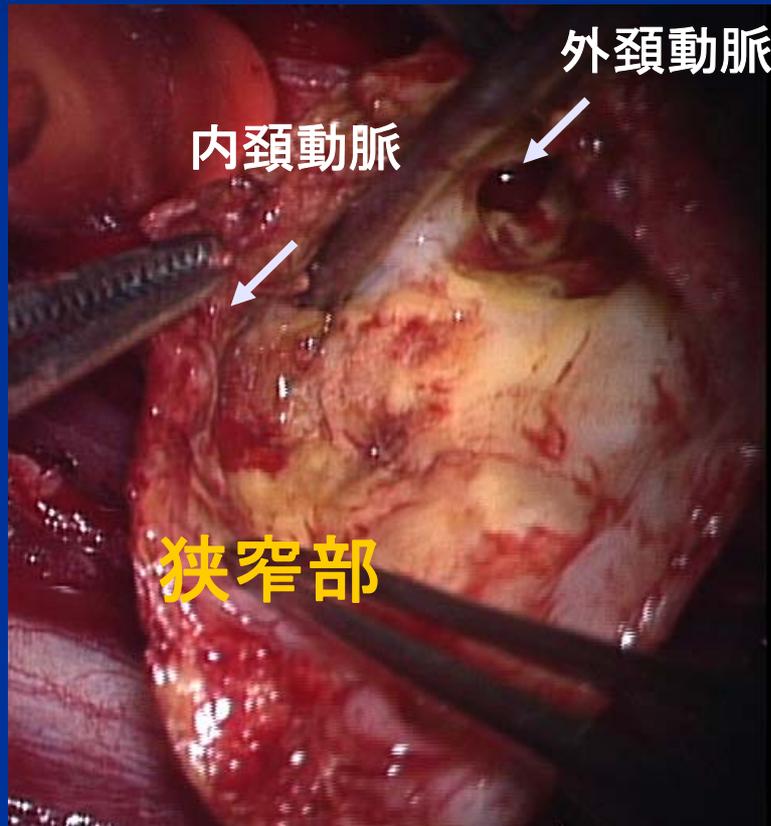
塞栓性

アテローム血栓性脳梗塞の画像

頸動脈閉塞症



頸動脈の動脈硬化



3D-CTA

心原塞栓性脳梗塞の画像



内頸動脈閉塞症



脳内出血

- 高血圧性脳内出血が60%を占める
- 50～60歳台が半数を占める
- 昼間の活動時、突然に意識障害、片麻痺出現し、数時間で完成する。
- CTで確定診断

脳内出血のCT像と剖検脳



CT

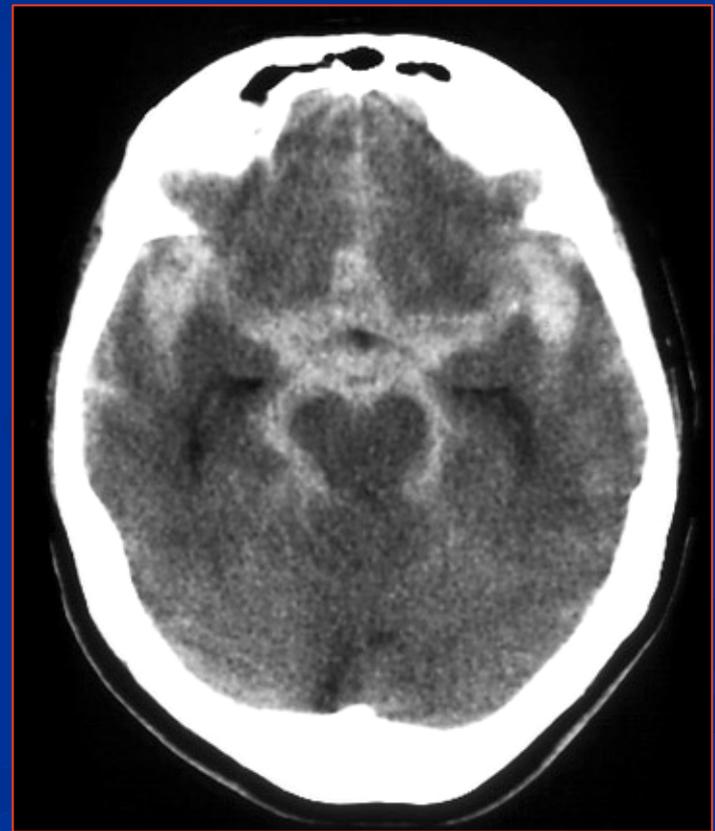


剖検脳

くも膜下出血

- 突然の激しい頭痛、嘔吐
- 70～80%が脳動脈瘤破裂
- 再出血予防のため早期に根治術を行う

動脈瘤破裂によるくも膜下出血



くも膜下出血の症例



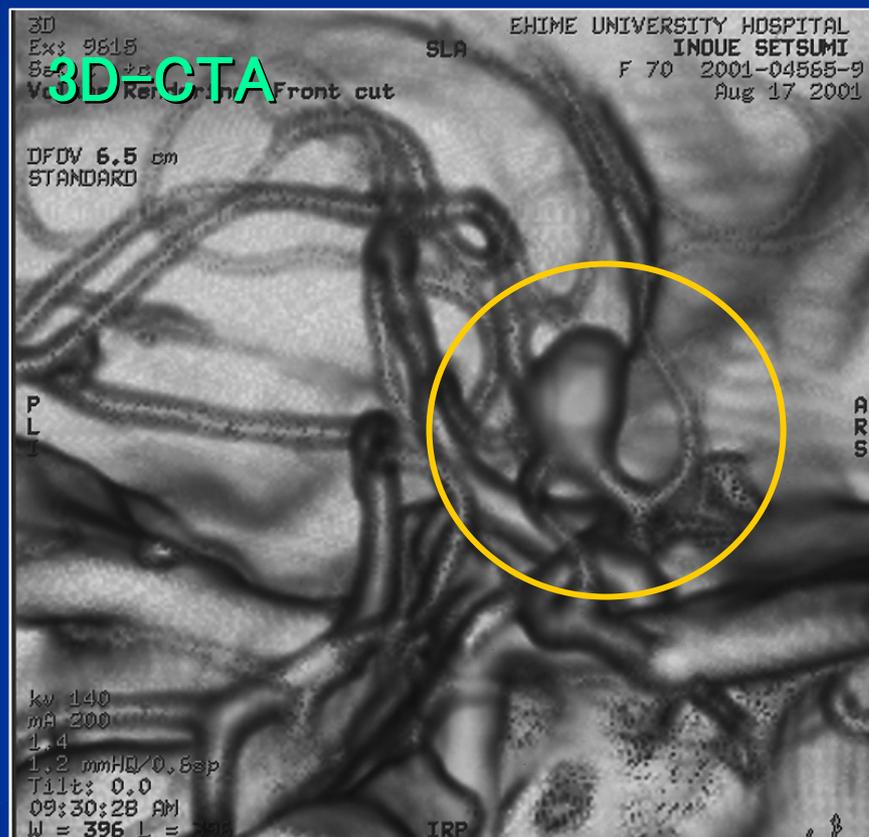
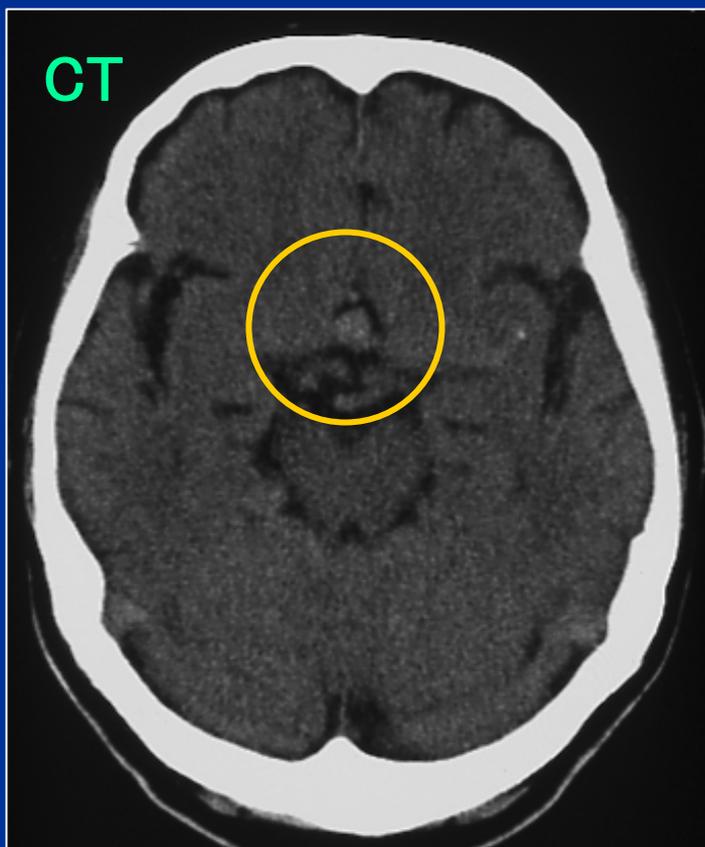
CT



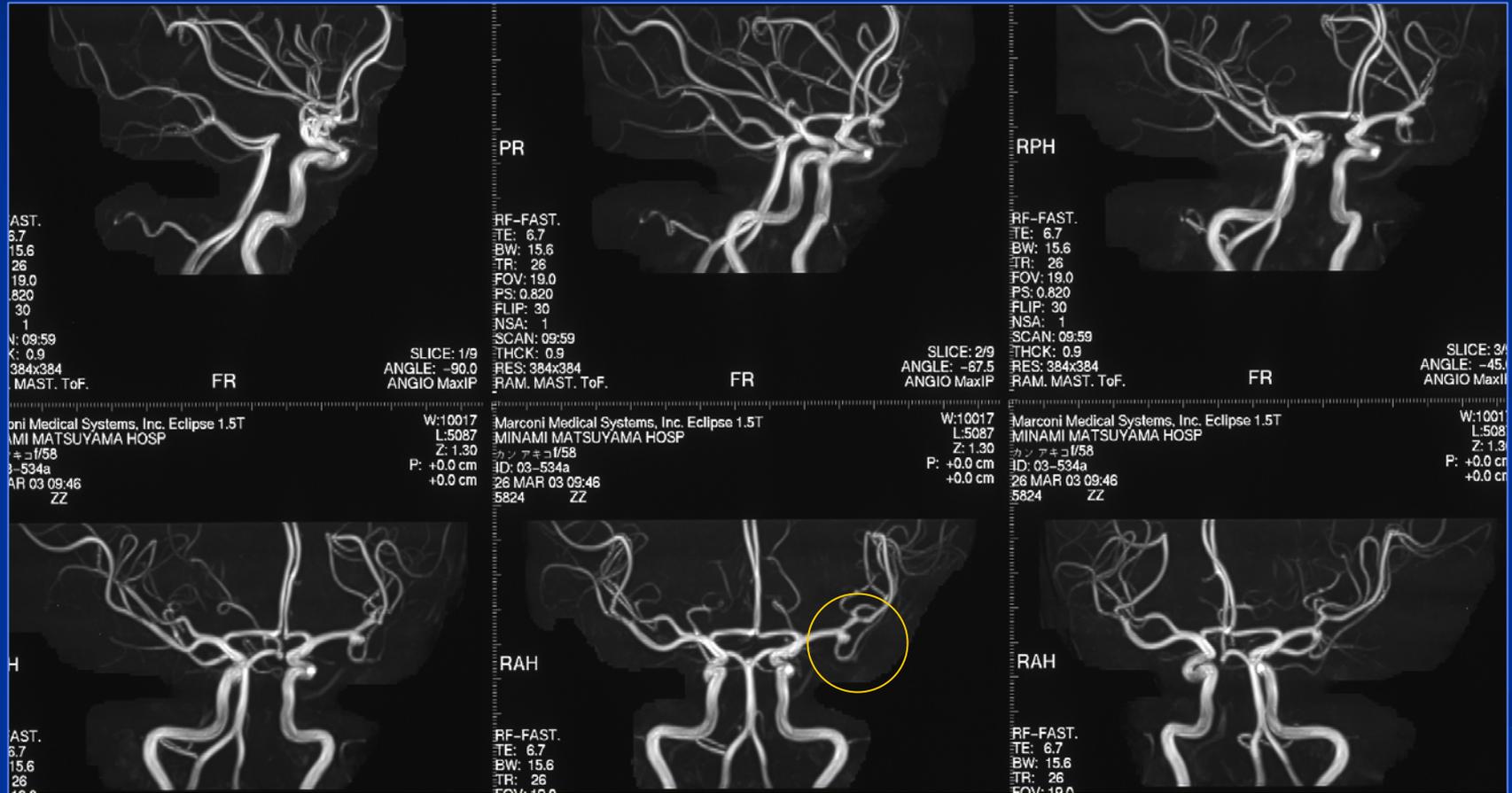
脳血管撮影

未破裂脳動脈瘤の検出

- 高血圧で頭蓋内精査



頭部MRA



脳卒中の(警告)症候

- 顔、手、足など半身の運動あるいは感覚障害が突然起こる。
- 一側の眼に限った視力、視野障害が起こる。
- 言語機能の喪失、または話せない。
- 原因不明の頭痛が突然起こる。
- めまい感、体の不安定、突然倒れるなどが上記症状に伴って起こる。

脳卒中を克服するために

- 正確な診断
- 適切な治療
- より早期の受診
- より早期の診断
- より早期の治療
- 全身疾患としての脳卒中の治療

脳卒中の克服

発症予防



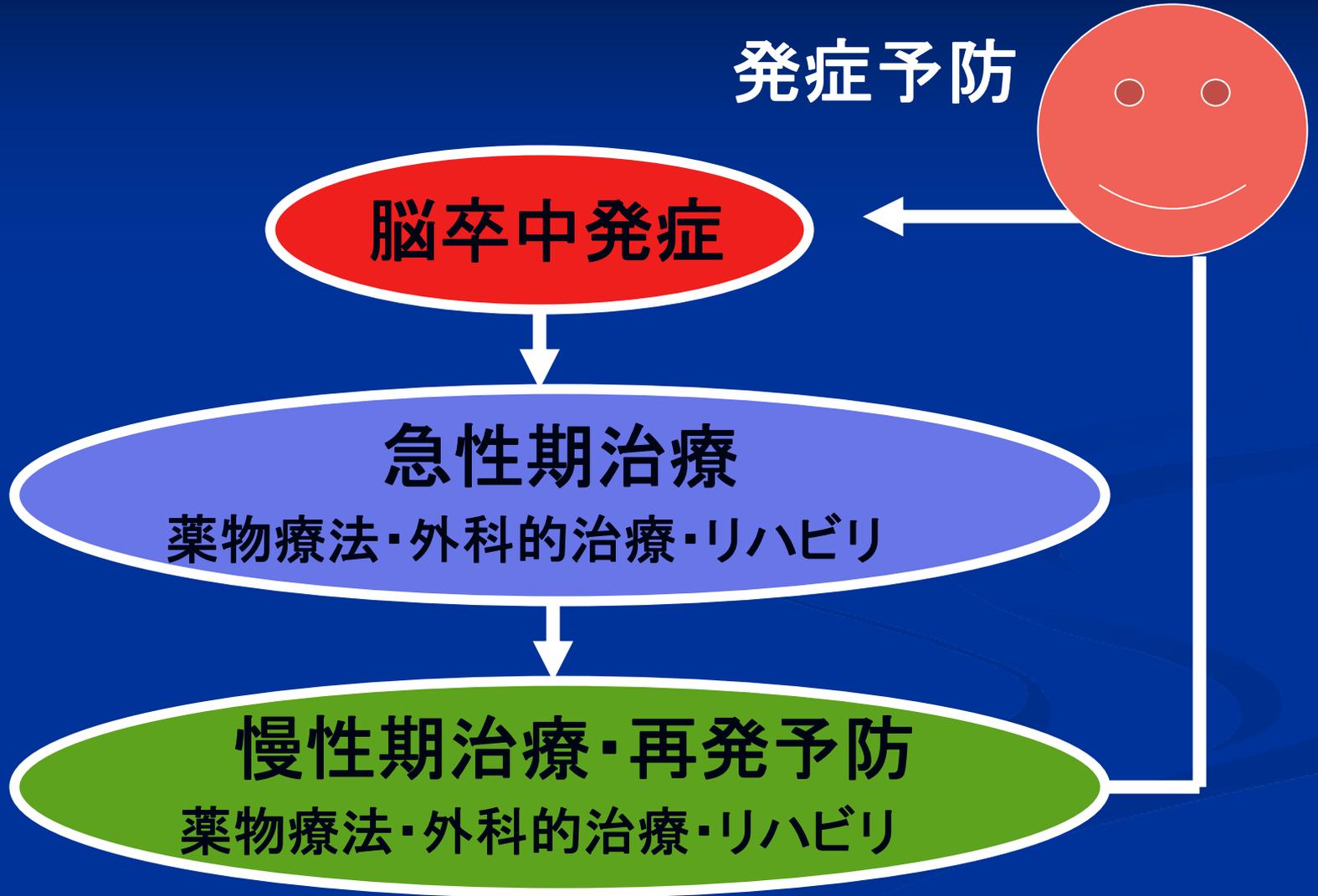
脳卒中発症

急性期治療

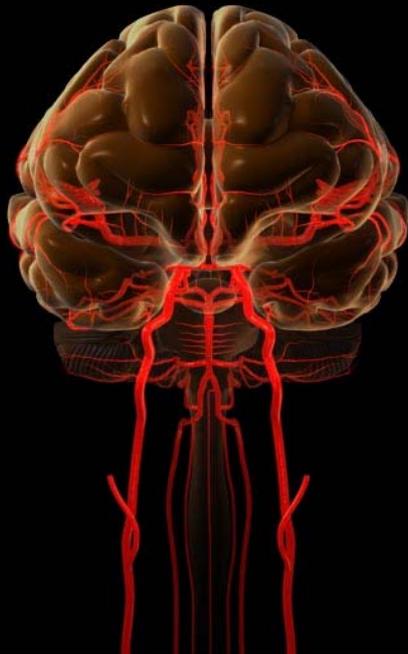
薬物療法・外科的治療・リハビリ

慢性期治療・再発予防

薬物療法・外科的治療・リハビリ



内頸動脈および椎骨動脈系の 脳血管



正面



側面